

第 10 回 企業誘致推進委員会

平成 26 年 8 月 22 日 午前 10 時から
信濃町役場 公室

出席者：佐藤博一委員長（副町長）、浅野英彦副委員長、荻原一正氏、三沢孝男氏、星野直信氏、
北村総務課長、松木建設水道課長、伊藤産業観光課長、事務局

1 開 会（副委員長）

時間になりましたので第 10 回企業誘致推進委員会を開催いたします。

2 挨 拶（委員長）

皆さんおはようございます。お暑い中お集まりいただきありがとうございます。前回の委員会は 5 月だったと思います。気になっているのは皆様の任期についてでございます。この後、事務局にて説明申し上げますけど、今日、今までここにメンバーとしていらっしやった方がいらっしやらないというのは寂しい限りでございます。

今日の推進委員会では土地に関する情報提供制度、あと企業誘致については様々な企業様とは接触はしております。一番直近でありますのは、信濃町は大学の駅伝が練習に来ていると、その中で各監督さんとお会いすることもあります。また、大学も企業でありますしその後ろにも企業がいるという事でもあります。そういった意味では伊藤課長が来ていただいたことによりまして私よりもっと顔の広い課長が精力的に動いてくださっておりますのでこの会が更に充実できますように。1 社やただけでは胡坐かいててはいけないと思っていますので、皆さまのお知恵など拝借しながらやりたいと思います。よろしく願いいたします。

続いて現状報告ということで事務局お願いいたします。

・検討事項について

事務局 その前に、推進委員の任期についてご説明させていただきたいと思います。前回の推進委員会の時に皆様には 2 年間の任期が終了いたしますが引き続き再任という形で委員を引き受けていただきたいをお願いをさせていただきました。このことにつきまして、現在、3 名の方の辞退がございますので推進委員会は委員 10 名での構成となっております。推進委員会設置条例では 13 名以内の構成となっておりますので委員会自体開催することについては問題はありません。ですが定員に不足数が出ていますのでその点、やはり多くの方のご意見、お知恵をいただきたいと思っていますので、どなたか新しく委員に加わっていただきたいと考えています。現在、委員の人選につきましては何名かの方を事務局側でリストアップさせていただいておりますが、皆さまのお知り合いの中で適任かと思われる方がいらっしやいましたらご推薦いただきたいと思います。よろしく願いいたします。

委員長 その事務局案はまだ発表出来ないのですか。

事務局 まだご本人に何も連絡をしていない段階なので。

委員長 私も一人おりますので、こちらをまた当たってみたいと思います。
これは と接触する機会がございまして、そこも結構いろいろ情報があると聞きますので、ひとつ の方をターゲットにお願いします。
それ以上、お名前は控えさせていただきます。その他、皆さまの方ではよろしいでしょうか。

事務局 後日、事務局までご連絡いただければ有り難いです。

委員長 それでは、次に用地の情報提供制度について事務局をお願いします。

事務局 このことについて大分遅れてしまいまして申し訳ないのですが、前々回に一度ご説明させていただきました。現在、町では小学校跡地2箇所のほか企業を誘致するある程度まとまった土地がなく、民間より土地を募集するとのことで要綱案を作成させていただいております。以前の推進委員会では皆様に要綱の内容についてご確認いただいて、何点かご指摘をいただい点について今回修正いたしましたので修正点について改めてご説明させていただきます。

まず、要綱案の2枚目のフローのとおり用地所有者から企業へ提供してもいいよという土地を町へまず登録していただく、その登録している情報をもって町が交渉する企業へ情報を提供するという流れでご説明させていただきました。その中で、用地の取得を考えている企業が町としてあまり歓迎できない企業であったらどうするのかと、また、その点の判断はどうするのかというご指摘をいただいたかと思います。

それらについて、要綱の第5条の交渉の申出の中で追加させていただき事項の中で第1項の中で(1) 企業等の立地が周辺の景観及び環境を著しく損なうことがないこと。(2) 企業用地等の取得後の事業計画が明確であり、その用途以外で使うことがない。この二つを最低限の条件として企業側に同意していただく。また第2項には企業等の立地が本町産業の振興上適当と認めた場合は台帳に登録するといいたしました。申請があった段階である程度企業の内側まで踏み込んで信濃町として歓迎できる企業かどうかその点をこの段階で見極めたいと考えております。

これら条件をクリアしたうえで最終的に所有者さんと交渉に入っていただくという形になります。

委員長 前回の説明から好ましくない企業が来た場合はこの様な形でやっていくとことで説明いただきましたが皆さんの方でご理解また質問ございましたらお願いいたします。

委員 文面でもいいですか。希望者は登録台帳に記載された情報により企業用地取得の交渉希望となっているが、希望者は希望するから希望者なんですよ。同意反復のような。

事務局 第4条の町内に立地を希望する者を以下「希望者」としています。
第5条では希望者が用地の情報が載っている登録台帳を閲覧し、その中で取得したい土地の所有者と取得交渉を希望する場合はとの意味合いです。

委員長 字句の言い回しについては確認していただき皆様にはどうやって報告いたしますか。

事務局 この会の議事録を毎回お送りしていますのでその時でお願いします。

委員長 次に進めます。前回の企業訪問についてですがお願いいたします。

～誘致を進めている企業なので省略～

事務局 今年度より県の方で ICT 産業、インターネット付随サービス業と言われています産業に対して、県内で事業所を新設した場合、助成金を出しますという制度が新設されました。これは昨年度まではありませんでした。この制度の目的がやはり製造業が海外への事業展開の傾向が強く、それに代わる産業の誘致が必要だという事でこの ICT 産業に県も目を付けております。非常に制度の内容も充実していて、県の方でこの産業を増やしていきたいと大々的に言っています。

委員長 県がらみで私と課長と担当で県の東京事務所へ行ってきたのですが、そこで上田の東信地区、岡谷、宮田村で作っている企業誘致のパンフレット3冊もらってきたのですが、ずっと前から言っていますが、うちも信濃町版を作るべきだと思っています。それを東京に置いておくとか我々持って いくだとか。それは段階を踏んでやりたいと思っていますのでよろしくお願いします。

委員長 続いて各委員さんからの報告ございますか。

委員 直接、企業誘致に関わることはないのですが、1%支援制度というのがございますよね。これを考えられないのかなと。千葉の八千代市や柏市がやっている。人口規模が違うので信濃町で何百万円集まるという事ではないのですが、少なくとも住民税の納税意欲を高めるとともに、その中から1%分を自分が指定した団体に使ってくださいといえることができる。そうすると町内で活動していて町民にとって好意的に受け止められている団体にとっては結構資金集めにはある程度役に立つのかなと。ただ条例を設置しないといけないので簡単にはいかないのでは検討してみたいかと思っています。

- 委員長 これは税と条例が絡むものですので情報提供だけで、ここでは何もコメントできません。
- 委員長 最近、テレビでやっているが、
の会社が
へ行ったのを見るとなんで信濃町に声がかからなかったが知りたい。なんかあったのですか。
- 委員長 うちは別に拒否したわけではないです。取り組みたい企業だとは思っていましたが先を越されたなど。
- 委員長 もう一件、KURA という雑誌で長野県全体のいろんな情報が載っているが信濃町だけ載っていない。何の情報もなくて。
- 委員長 あれはお金払って掲載しているものでお金を払ってくれるところがなかったので載らなかっただけです。
- 産観課長 先日、お米のセールスの関係で東京へ行ったのだが、今、お米の需要が下がっている。しかし、信濃町のお米の関係では昨年金賞を取られているということで
でやっているホテルのレストランで試食をしていただいてとても好評でした。後、値段の関係で 10k g で 5,000 円なのですが向こうは 3,500 円ぐらいを望んでいる。このへんが上手くいけば通年を通して使用させてくださいと。行った時に信濃町に興味を持って信濃町を応援してくれる企業が東京にすることがびっくりした。信濃町も打って出ていかないと。やはり信濃町の良さをどんどん都会に発信した方が向こうにもファンが出来るのだなと実感しました。信濃町の魅力を大いに発信した中で、企業誘致を進めていきたい。
- 委 員 先日、
の創業者のお孫さんなんだけれども、長野にしょっちゅう来ている。なんで来ているんですかと尋ねると、大学の時に合宿に長野に来ていたらしくて同級生が菅平で監督としてやっているから来ている。合宿というのをご縁として繋がりをもってくる。
の社長さんだって最初はスキーに来ていてそのまま居座ってしまった。将来のことを考えれば合宿とかはもう一回見直した方が都会から注目を浴びることになるのではないかと。ただ、そのつながりというのを大事にしていく、おもてなしを発信していけないとそういう大企業の号令を発する人の記憶が薄れていくだろうと思うので、情報発信は飽きずにやっていくことは大事だとつくづく思いました。
- 委 員 関連するんだけど小学生や中学生の農村の受け入れを今年 2 年目でやったのだけど、非常に受け入れする側とすれば事務局が大変なんだと思うけど、例えば向こうの人たちがスキーには来ている、今度は是非、黒姫に来たいとかいろいろな関係であるんで。あの形をもっと拡大して行って信濃町を PR しながらやりたい。結局、両親は勤めている、

勤めていれば企業との関係も出てくるし、何だかの関係で繋がりが出来てくるのではないかな。出来るだけ農村の受け入れを大事にしてもっともっと信濃町の良さを見てもらっていいところを PR してもらえればいいなと思っています。

委員長 続いて次回の開催予定を事務局でお願いします。

事務局 11 月上旬または 12 月上旬を予定しています。

副委員長 これで第 10 回企業誘致推進委員会を閉会いたします。

閉 会 午前 11 時 20 分